

農産物販売促進事業

自治体情報 千葉県 鴨川市

人口 / 35,862人 標準財政規模 / 9,720百万円

担当課 建設経済部産業振興課
 電話番号 直通 04-7093-7834
 実施主体 鴨川七里を育てる会
 関連ホームページ

事業期間 平成21年度から
 関係施策分類 ③

予算関連データ

総事業費：1,165千円（H22）

名称	所管	金額(千円)
鴨川七里を育てる会		665
一般財源	-	500

施策のポイント

在来種の枝豆のブランド化による生産農家の所得向上等を目的として、平成21年度から実施している施策である。取り組みの一環としてオーナー制度を実施しており、地域間交流の創出にも寄与している。

施策の概要

1. 取り組みに至る背景・目的

取り組みの核となる「鴨川七里」は、多種にない芳醇な香りと味、極晩生な収穫期を特徴とする在来種の枝豆であり、その名称は「香りが七里広がる」と言い伝えられたことに由来する。

市において地元特産品の開発及びブランド化について検討する中で、この「鴨川七里」に着眼したことを契機として、平成21年6月、地元農業者を中心に「鴨川七里を育てる会」が設立。同会を中心に商工会、J A、県関係機関及び市担当課等の関連団体が連携し「枝豆によるまちおこし」がスタートすることとなった。

2. 取組の具体的内容

ブランド化された高付加価値商品としての流通・販売はもちろんのこと、地域間交流の媒体としても活用しており、前述の「鴨川七里を育てる会」に設置した「鴨川七里オーナー制委員会」を中心に、地元商工会を受付窓口として「枝豆オーナー制度」を実施している。（平成22年度は220区画〔1区画 約15㎡〕）

また、旅館業協同組合等との連携により、市内宿泊施設の利用客を対象として「鴨川七里狩り」を実施するなど、「鴨川七里」を活用した農商工連携にも積極的に取り組んでいる。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

生産者、販売者の所得向上

4. 現在までの実績・成果

「鴨川七里」の栽培面積は、当初の80 a から平成22年度には136 a へ拡大。末端価格では1袋250g入りのもので500円前後で販売されている。

また、オーナー制度については、県内外の家族や会社などから147件の申し込みがあり、収穫等を通して地域間交流の場となる一方、オーナー等が本市域を訪れて宿泊・観光・外食等の消費活動を行うことから、地域経済の活性化にも一定の寄与が見られる。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

他種の枝豆に比べて生育が過剰になりやすく栽培が難しいことから、J A等が中心となって栽培講習会や巡回指導を行い、品質の確保に努めた。

6. 今後の課題と展開

「鴨川七里」を活用した加工品の開発・販売等を通しての「鴨川七里ブランド」のより一層の普及促進を見込む。

一方で、本市の農産業全体の問題として後継者不足が深刻化しており、「鴨川七里」に関する取り組みの中心となるべき生産農家においても例外ではない。このため、中長期的な取り組みの継続性を維持する観点からも、地域で生産される良質な農産物を活用しての農商工連携をより一層積極的に促進し、地域の農産業全体を活性化させていくことが必要なものと認識している。